



コロナに負けずに頑張った6年生（令和2年度）  
8年後、地域の人と一緒にタイムカプセルを開けよう！



致芳にはお店もいっぱい！学校を飛び出して  
社会勉強に出掛けよう！



この「マーク」などを掲げるなどの意識づけで、できれば良いのでは。例えば、大字の地区単位の事業でも掲げるなど。

**（平（直））** 子供たちが地域の行事に参加する優先順位が低くなっている。強制するものではないだろうが、親の意識や考えた方が子どもに大きく影響する。

**（牛澤）** 致芳は、地域と教育が一体となっている。昨年実施したタイムカプセル事業も、8年後にまた地域の皆さんと成人する子ども達が再び出会うというシナリオ。このプロジェクトで築きあげた「型」を継承していきたい。

**（平（直））** 致芳での子育てが楽しいという雰囲気づくりが重要。

**（平（み））** 子どもの教育も重要だが、「大人の学び直し」という視点も重要だと思う。最後に皆さんから一言。

**（鈴木（義））** 来年度以降もぜひ、「Beyond」という言葉を残して、このプロジェクトを継続したい。地域に求めるだけでなく、学校から地域に歩みよりたい。

**（鈴木（亮））** 私自身、生まれも育ちも致芳。このプロジェクトをきっかけに、改めて故郷を誇りに思った。致芳ならではの取り組みとして継続したい。

**（牛澤）** 様々、苦労はしたが、活動中にPTAも全国表彰をいただいた。これもこのプロジェクトのおかげである。今まで以上に連携した取り組みを展開したい。一番下の子どもがまだ2歳。まだまだ学校に携われる。「あとお前いいは。」と言われるまで頑張りたい（笑）

**（平（直））** みんなの「致芳愛」を改めて感じた。地域内の世代間交流の中で、子ども達に「致芳愛」を伝えていきたい。新年度からPTA会長の大役を仰せつかった。まずは、自ら行動したい。

**（横澤）** それぞれの立場で表彰をいただいたが、これを一つの「きっかけ」と捉えて、次に進んでいかなければならない。地域と学校一丸となって楽しく活動しながら、子ども達に大人の生き方を示していきたい。気軽にお茶飲みをしながら情報交換を密にしていきたい。

インタビューに協力してくださった方（4 ページ上部写真順）

令和4年度致芳小学校 PTA 会長  
**平 直人**

森地区在住。長井市役所勤務。令和3年度は、PTA副会長をつとめた。プライベートは、専ら地域行事と息子さんが所属する野球スポーツの活動に没頭。いつも穏やかな表情が印象的で常にグループの中心にいる人気者。ちょっとした雑談の中でも、内に秘めた闘志や野望が垣間見える瞬間があるのも魅力的。



令和3年度致芳小学校 PTA 会長  
**牛澤 栄一**

森地区在住。(株)ミキプロセス代表取締役。父の美行さんと親子二代で致芳小学校PTA会長を歴任。長井商工会議所青年部や長井青年会議所の活動にも精力的に取り組む情熱人。家庭では4人の良きパパとして子育てに奮闘中。「Beyond ちほう2020」のコメンタリーリーダーとして実働部隊の陣頭指揮をとった。



致芳コミュニティセンター館長  
**横澤 敏**

致芳コミュニティセンター第9代館長。白兔地区在住。主に小中学校の教員として36年にわたり教壇に立った。その後、長井小学校の地域学校協働活動推進員を歴任し、令和元年度より館長をつとめる。一日八里の下見は、ロードバイクでぐるっと回るアウトドア派。趣味のそば打ちは、もはや職人レベル。館長退職後は、そば屋を出店！



致芳小学校校長  
**鈴木 義明**

南陽市在住。令和2年度に致芳小学校校長に着任。奥さんのかおりさん（旧姓：相馬）は、致芳小学校の事務職員として勤務していたこともあり、家庭では「致芳談義」に花が咲いているとか。常に子ども達が頑張る姿に着目し、致芳小学校のブログは、自ら更新し、情報発信に力を入れている。



致芳小学校地域学校協働活動推進員  
**鈴木 亮**

成田地区在住。教職経験を活かし、令和2年度より致芳小学校地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）に着任。小学校と地域をつなぐパイプ役として日々奮闘中。プライベートでは、黒獅子の里案内人もつとめ、市内の観光スポット案内にも力を注いでいる。趣味のカメラ撮影では、県内の絶景スポットに足を運び、数々のコンテストで入賞している文化人。

